

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	音レク（音楽レクリエーション）による健康サポーター養成講座
事業主体 (連絡先)	音レク伊那実行委員会 伊那市富県 4570-1
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に係る事業 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	751,912 円（うち支援金：600,000 円）

#### 事業内容

音楽レクリエーションサポーター養成講座を平成29年7月23日～平成30年2月18日まで月に1回、計8回行人材育成を実施しました。

- ・第1回 H29年7月23日(日)伊那市生涯学習センターいなっせ 参加者 115名
- ・第2回 H29年8月28日(月)伊那市生涯学習センターいなっせ 参加者 105名
- ・第3回 H29年9月28日(木)伊那市生涯学習センターいなっせ 参加者 93名
- ・第4回 H29年10月21日(土)伊那北地域活性化センターきたっせ 参加者 86名
- ・第5回 H29年11月18日(土)伊那北地域活性化センターきたっせ 参加者 59名
- ・第6回 H29年12月17日(日)伊那北地域活性化センターきたっせ 参加者 81名
- ・第7回 H30年1月21日(日)伊那北地域活性化センターきたっせ 参加者 72名
- ・第8回 H30年2月18日(日)伊那北地域活性化センターきたっせ 参加者 68名



【スカーフで高原列車は行くを踊る】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①養成講座の参加者が202名延べ679名となり、58名の方が6回以上の参加で修了証書を取得され、計画を上回る方々が地域の役に立ちたいと学んでくれた。
- ②注目すべきは90代の方が3人サポーターになられ、その方達がお茶飲みサロンをスタート。支えられる側から支える側になってくれた。
- ③男性参加者が20人となりメンズリーダーが誕生し、毎月の講座の役員として活躍してくれた。
- ④講座で知り合ったメンバー同士で食事や情報交換などのコミュニティーが活き、ボランティア仲間が形成されはじめた。
- ⑤長野日報(2017年7月24日)、信濃毎日新聞(2018年2月19日)、伊那ケーブルテレビ(2017年7月24日と2017年12月27日)に大きく取り上げられ、元気づくり支援事業をアピールできた。
- ⑥上牧区敬老会、上伊那ブロック社協職員研修会、上伊那ブロックボランティア研究集会、飯島町社会福祉大会に講座参加者と共に参加し、学んでもらったことを活かして貢献できた。

#### 【目標・ねらい】

- ①元気高齢者が音レク健康サポーターとして社会参加する
- ②男性参加者のほりおこし
- ③高齢者の皆様のやりがい、生きがい作り
- ④サロンや自治会の包括的支援

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- ・高齢者の社会参加に寄与できた。
- ・メンズリーダーを中心に男性の活躍の場が生まれ、施設慰問にも積極的に参加するようになった。
- ・お茶会サロン寄り場作りの足がかりとなる事業となった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・音レク伊那の拠点にて、今後も講座を継続してスキルアップを計る。
- ・各地域で包括的な活動が出来るよう支援していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある